

富山大学 学報

第251号

目 次

関係法令	2	富山共済組合支部連絡協議会	
学内規則	2	ソフトボール大会	6
富山大学当直規則の一部改正	2	本学と遼寧大学との友好学術交流締結に	
富山大学教育学部規則の一部改正	3	基づく交流教官の来日について	7
諸会議	4	第20回12大学教養部長・事務長連絡会議	
人事異動	5	の開催	7
学内諸報	5	寄稿〈インドネシアの印象〉	7
海外渡航者	5	職員消息	9
昭和59年度全国公務員レクリエーション		主要行事	10
共同事業富山地区ソフトボール大会	6		

関係法令

(官報掲
載月日)

(官報掲
載月日)

省 令

- 支出負担行為取扱規則等の一部を改正する省令（大蔵43） 9・29
- 文部省の所管に属する不動産及び船舶に関する権利の登記嘱託職員を指定する省令の一部を改正する省令（文部49） 9・29
- 国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令（文部50） 9・29
- 日本学校健康会法施行規則の一部を改正する省令（文部51） 9・29
- 国家公務員等共済組合法施行規則の一部を改正する省令（大蔵42） 9・29

規 則

- 人事院規則（俸給の調整額）の一部を改正する規則（人事院9-6） 10・1
- 人事院規則（初任給、昇格、昇給等の基準）の一部を改正する規則（人事院9-8） 10・1
- 人事院規則（俸給の特別調整額）の一部

- を改正する規則（人事院9-17） 10・1
- 人事院規則（特殊勤務手当）の一部を改正する規則（人事院9-30） 10・1
- 人事院規則（特地勤務手当等）の一部を改正する規則（人事院9-55） 10・1
- 人事院規則（職員の災害補償）の一部を改正する規則（人事院16-0） 10・1

告 示

- 昭和60年度科学研究費補助金の計画調査の提出期間を定める件（文部125） 9・25
- 日本育英会法施行令の規定による試験所又は研究所として指定した件（文部127） 9・29
- 日本育英会法施行令の規定による試験所等を指定した件の一部を改正する件（文部128） 9・29
- 放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律施行規則に基づき、記録の引渡し機関を指定する件（科学技術庁11） 10・1

学 内 規 則

富山大学当直規則の一部改正

富山大学当直規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和59年9月13日 富山大学長 柳田 友道

富山大学当直規則の一部を改正する規則

富山大学当直規則（昭和39年2月15日制定）の一部を次のように改正する。

第1条及び第2条（見出しを除く。）を次のように改める。

第1条 富山大学（経営短期大学部を含む。以下「本学」という。）に、人事院規則15-9第2条及び第3条に規定する勤務（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する日、年末年始の休暇及び国の行事の行われる日で人事院が指定する日（以下「休日」という。）並びに正規の勤務時間以外の時間において、本来の勤務に従事しないで行う庁舎、設備、備品、書類等の保全、外部との連絡、文書の収受及び庁内の監視を目的とする勤務）を行うため、当直を置く。

第2条 当直は日直及び宿直とし、その勤務時間は次のとおりとする。

- (1) 日直勤務は、日曜日及び休日の午前8時30分から午後5時までとする。
 - (2) 宿直勤務は、午後5時から翌日の午前8時30分までとする。
- ただし、土曜日にあつては、午後零時30分から翌日の午前8時30分までとする。

第3条中「割当てる」を「割り当てる」に改める。

第5条を次のように改める。

第5条 次の各号の一に該当する者は、当直を免除する。

- (1) 配置換による着任後2週間を経過しない者
- (2) 新規採用による着任後1月を経過しない者
- (3) 人事院規則10-4に基づき健康管理医から当直に従事することが適当でないと指導された者
- (4) その他免除する必要があると認められた者

第6条中「病気その他の事故」を「公務又は病気その他自己の都合」に改め、「上司の許可を得て」を削

る。

第7条中「勤務時間中」の次に「又は勤務時間後においても引継ぎを終わるまで」を加える。

第10条中「郵便物、」を「郵便物及び」に、「または」を「又は」に、「引継ぐ」を「引き継ぐ」に、「送付」を「連絡」に改め、「郵便物受領簿及び」を削る。

第11条中「適時巡検をなし、就寝前は」を「所定の時間に」に改める。

第12条中「取扱った事項、」を「取り扱った事項及び」に、「記録し、上司の検閲を受けなければならない。」を「記録しなければならない。」に改める。

附 則

この規則は、昭和59年9月13日から施行する。

▶富山大学当直規則の改正理由

規定を整備し併せて字句の整理を行うため、関係条文を改める。

富山大学教育学部規則の一部改正

富山大学教育学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和59年9月21日 富山大学長 柳田 友道

富山大学教育学部規則の一部を改正する規則

富山大学教育学部規則（昭和27年4月18日制定）の一部を次のように改正する。

別表Ⅲの技術専攻の表中

産業概説	2	2							2
------	---	---	--	--	--	--	--	--	---

を

産業概説	2			2		2			
------	---	--	--	---	--	---	--	--	--

に、

計	171	34	10		10		24	2
		6			6			
		50			50		26	

を

計	171	32	10		10		24	2
		8			8			
		50			50		26	

に

改める。

附 則

- 1 この規則は、昭和59年10月1日から施行する。
- 2 昭和58年度以前の専門教育課程移行者については、なお従前の例による。

▶富山大学教育学部規則の改正理由

授業科目を整理し、教育内容の充実を図るため、所要事項を改める。

諸 会 議

職業補導担当者会議（9月3日）

（審議事項）

- (1)昭和59年度学生指導費（校費）就職指導費(旅費)の配分について

- (1)昭和60年度富山大学学生募集要項（大学案内付）

（案）について

- (2)昭和60年度富山大学入学試験電子計算機処理委員について

昭和59年度第2回事務協議会（9月4日）

（審議事項）

- (1)定年制度について
- (2)外部資金の受入れについて及び購入物品の選定について
- (3)消防査察について

昭和59年度第1回体育部会（9月17日）

（審議事項）

- (1)昭和59年度体育系サークルリーダー研修会について

高等学校教育課程改訂に関する学習会（9月18日）

（学習事項）

- (1)高等学校学習指導要領改訂に伴う教育課程の実情と問題点について一新・旧教育課程の対比を中心に—

昭和59年度第5回学寮補導委員会（9月7日）

（報告事項）

- (1)昭和59年4月以降の寮生との話し合いの経緯について

（審議事項）

- (1)水道料問題について

昭和59年度第3回学園ニュース編集委員会（9月20日）

（審議事項）

- (1)第46号学園ニュースの発行計画について

昭和59年度第3回入学者選抜方法研究委員会専門委員会（9月14日）

（審議事項）

- (1)入学者選抜方法の改善に伴う昭和58年度以降の調査研究事項について

昭和59年度第5回評議会（9月21日）

（報告事項）

- (1)昭和60年度富山大学大学院理学研究科(修士課程)及び工学研究科(修士課程)入学試験合格者の判定について

- (2)昭和60年度富山大学大学院工学研究科(修士課程)推薦入学者の選考について

- (3)学生の動向について

（審議事項）

- (1)富山大学と民間等との共同研究取扱規則の制定（案）について（継続審議事項）

- (2)富山大学教育学部規則の一部改正（案）について

- (3)昭和59年9月卒業者の認定について（人文学部・教育学部・経済学部）

昭和59年度第3回大学院委員会（9月14日）

（審議事項）

- (1)昭和60年度富山大学大学院理学研究科(修士課程)及び工学研究科(修士課程)入学試験合格者の判定について

- (2)昭和60年度富山大学大学院工学研究科(修士課程)推薦入学者の選考について

昭和59年度第4回入学試験管理委員会（9月14日）

（報告事項）

- (1)昭和60年度富山大学入学試験問題作成委員について

（審議事項）

昭和59年度第3回補導協議会（9月27日）

（報告事項）

- (1)日本育英会奨学生の推薦について

(審議事項)

- (1)課外活動共用施設について
- (2)昭和59年度体育系サークルリーダー研修会について
- (3)日本育英会奨学生の推薦基準等について

昭和59年度第1回富山大学レクリエーション委員会
(9月27日)

(審議事項)

- (1)昭和59年度職員厚生経費の使用計画について

富山大学構内交通対策委員会(9月28日)

(審議事項)

- (1)自動二輪車, 原動機付自転車の交通規制の策定について



人 事 異 動



異動区分	発令年月日	氏 名	異動前の所属官職	異 動 内 容	任命権者
採 用	59. 9. 10	三 村 紀 子		事務補佐員(附属図書館)	富山大学長
	59. 9. 17	高 田 智 子		" (工学部)	"
	59. 10. 1	南 龍 久		教授(経営短期大学部経営学科)	文 部 大 臣
	"	松 原 孝 則		臨時用務員(工学部作業員)	富山大学長
昇 任	"	別 本 明 夫	講師(教養部)	助教授(教養部)	文 部 大 臣
	"	武 脇 誠	助手(経済学部)	講師(経済学部)	富山大学長
	"	釜 谷 武 志	" (京都大学文学部)	" (教養部)	"
臨時的任用	59. 9. 11	小 又 万 希 子		教諭(教育学部附属中学校)	"
併 任	59. 9. 30	瀧 好 英	教授(経済学部)	経済学部長・評議員(59.9.30~61.9.29)	文 部 大 臣



学 内 諸 報



海 外 渡 航 者

渡航の種類	所属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
外国出張	人文学部	教 授	小谷 仲男	パキスタン インド	ガンダーラ仏教遺跡の総合調査のため	59. 9. 21 } 59. 12. 22
	"	助教授	赤阪 賢	ケニア ザイール ルワンダ	日本学術振興会海外地域研究センター派遣研究者としてバンツー系諸部族の信仰体系・世界観の比較研究に従事するため	59. 9. 28 } 60. 3. 18
	理学部	"	川崎 一朗	アメリカ合衆国	地球内部大規模異方性の研究のため	59. 9. 25 } 60. 8. 20
海外研修旅行	人文学部	教 授	三宝 政美	中華人民共和国	魯迅研究のため	59. 9. 13 } 59. 12. 29

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
海外研修旅行	理学部	助教授	田口 茂	アメリカ合衆国	化学に関する共同研究のため	59. 9. 21 60. 9. 24
	工学部	〃	坂井 純一	アメリカ合衆国	テキサス大学にてプラズマ中の爆発的磁気過程に関する共同研究のため	59. 9. 9 59. 9. 30

◎ 構内での自動車等の運転は、教育・研究に支障を来さないよう安全運転に努め定められた交通方法、歩行者の安全及び騒音防止に努めましょう!!

昭和59年度全国公務員レクリエーション 共同事業富山地区ソフトボール大会

昭和59年度全国公務員レクリエーション共同事業富山地区ソフトボール大会が、去る9月7日(金)県営軟式球場において本学が当番となって開催されました。

競技は午前9時30分から始まり、当日は天候に恵まれ試合運びも順調に進み富山刑務所が優勝しました。本学からは(A)(B)(C)の3チームが参加しましたが、(A)チームは決勝戦で富山刑務所チームに

敗れ惜しくも2位になりました。

なお、成績は次のとおりです。

- 優勝 富山刑務所チーム
- 次勝 富山大学(A)チーム
- 3位 富山大学(B)チーム
- 〃 富山地方(家庭)裁判所チーム

富山共済組合支部連絡協議会ソフトボール大会

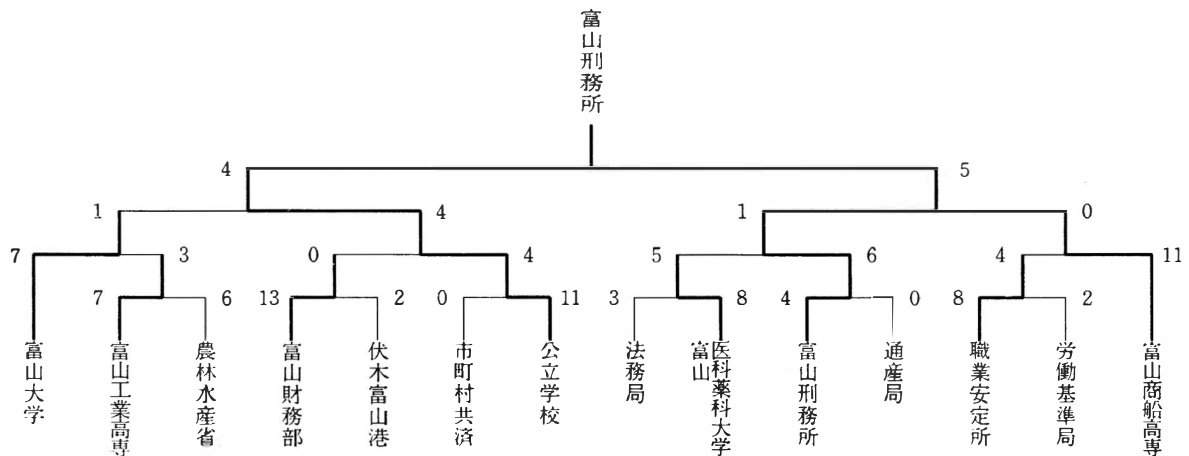
昭和59年度の富山共済組合支部連絡協議会ソフトボール大会が、去る9月20日(木)県営軟式球場において北陸財務局富山財務部の当番で開催されました。今大会には、本学から1チーム12名の選手が参加し、1回戦で富山工業高専チームと対戦し、7対3と快勝しました。

その後準決勝において、強豪公立学校チームと対戦

し、惜しくも1対4で敗れました。

なお、成績は次のとおりです。

- 優勝 富山刑務所チーム
- 次勝 公立学校チーム
- 3位 富山商船高等専門学校チーム
- 〃 富山大学チーム



本学と遼寧大学との友好学術交流締結に 基づく交流教官の来日について

本学と友好学術交流締結をした中華人民共和国の遼寧大学から最初の交流教官仲玉林講師が10月5日成田空港に到着、翌日富山大学へ来学された。

仲玉林先生は、「半導体の物性研究」をされており向こう3ヶ月間工学部宮下和雄教授の指導の下で同研

究に従事される。

なお、本学からは人文学部の三宝政美教授（中国文学）が9月13日から12月29日までの間、遼寧大学において「魯迅の研究」のため海外研修旅行されている。

第20回12大学教養部長・事務長 連絡会議の開催

第20回12大学教養部長・事務長会議が去る10月1日、2日に本学の当番で開催されました。

この会議は、旧文理学部の改組により、分離して発足した教養部で組織しているもので、比較的大学の規模も似ていることから共通するところが多く、有意義な会議であり、2日間にわたり右記の協議事項について、それぞれ意見交換が行われ、盛会のうちに終了し

ました。

なお、会議終了後、井波の瑞泉寺、木彫の里、五箇山の岩瀬家を見学した後、相倉の民宿で一泊し親睦を深めました。

- (1)教養部の今後のあり方について
- (2)教育方法改善の諸問題について

—職員会館の宿泊の御案内—

- ◎利用日……土・日曜日及び祝日も利用できます!!
- ◎申し込み…利用日の2日前までに!!
- ◎門限時刻…午後10時………御協力を………!!

寄 稿

〈インドネシアの印象〉

教育学部助手 古川 雅文

インドネシアという国については、これまで、ほとんど何の知識も持っていませんでした。学生時代に留学生にもらったクレテックタバこの不思議な香りと、あるクイズ番組での紹介で、変わった食べ物や飲み物があるなという、その程度の知識でした。今回、機会を得て、インドネシアに出張したので、その印象を書かせていただきます。

〈インドネシア共和国の印象〉

海外に行くと日本がよく見えると言います。日本の習慣との違いに驚ろき、日常生活に埋没していたもの

が浮き彫りにされるからでしょう。

インドネシアはアジアの国であるので、日本と変わらない面も多く持っています。例えば、人々の心情や、人なつこい態度などは日本人との類似性が大きいように思いました。都市の景観も、よく見れば看板の文字や絵のデザインに多少の違いはあっても、日本の都市によく似ていますし、田園風景も、ヤシの木が生えているのを除けばそっくりです。

日本との違いで目だった点は、人間が多勢居ること、人々の生活のテンポがのんびりしていること、イスラ

ム教を中心とした宗教が人々の生活に密着していること、それと、物質的な面での生活水準の低さです。

ジャカルタに着いての第一印象は、人間の数の多さでした。この国では、国勢調査も日本のように精密にはいかないようですが、それでも現在わかっているところで、約1億4千7百万くらいの人口を有しています。ジャカルタは6百万の大都会です。ジャカルタでは、交差点に車が止まると、雑誌やたばこ、飲み物などを持った子ども達がワッと車のまわりに集まってきます。信号待ちのわずかな時間にこうした雑貨を売り、生活の足しにするのでしょう。こちらでは、人手が多く、労賃も安いせいでしょうか、何でも人手でやっています。例えば、駐車場の料金所でも、料金所の中に居る人とは別に、わざわざ車のそばまで来て料金を受け取り、料金所まで運ぶ係の人が居たりします。ほんの5mくらいの距離です。また、道路工事でも、モッコのようなもので土を運んでいました。日本では、こうした面は全て機械による自動化が進んでいるだけに、ずいぶん違うと言わざるを得ません。

少し小さな通りに入ると、果物や飲物、焼き鳥やたばこ等々、やたらに露店が多く、たくさんのベチャ(自転車の前に2人乗りの座席を付けた、人力のタクシー)が並んで客待ちをしています。客が来るまでの間、車夫達は自分のベチャの座席でのんびりと寝ているのです。そう言えば、ジョグジャカルタの空港でも、待合室の売店の女の子の人が、店の中にクッションを敷いて、ごろりと横になって寝ていました。日本人の感覚では、何とも異様な感じですが、こちらでは当たり前なのでしょう。この空港の周辺には柵もなく、手荷物の検査も実に簡単で、車のトランクまで開けて調べられた成田空港とは対照的で、のんびりしたお国柄を表わしているようでした。

この国では、朝の日の出前と、日没前には、街や村のモスクからスピーカーでイスラム教のお祈りの声が流れます。ジャカルタの学校を案内してくれたサブキ教授らは、午後2時ごろになるとモスクを見つけ、私に車の中で待っているように頼んで、お祈りに入って行きます。寺院や神社には冠婚葬祭しか縁のない平均的日本人の生活とはずいぶん違うものだと感じました。

インドネシアは産油国であるのに、庶民の所得は一般に低く、それは人々の乗る乗り物にも表われています。走っている車の大部分は安い日本車ですが、街には前に書いたようなベチャや、昔懐かしいオート三輪、田舎では馬車まで走っています。軽トラックの後部に

人が鈴なりになっているのは、テレビや映画でみた戦後の風景のようです。日本で言えば、明治時代と戦後と現在が奇妙に入り混じったような風景がこの国の特徴と言えるかもしれません。こうした風景のなかに居ると、この国は10年後、20年後、どのように変わっていくのだろうと考えてしまいます。物質的な生活面だけでなく、ラーマヤナなどの物語を産み出した自由な心、イスラム教への深い信仰心といった精神的な面はどうなのでしょう。欧米諸国の合理的な思考法を習慣づけられ、時間に追われる生活をしている我々とは、また違った未来を築ける可能性をこの国は秘めているような気さえます。

〈インドネシアの学校にて〉

インドネシアでは、いくつかの学校を訪問しましたが、ここでは、出張の主要目的であったムハマディア教員養成・教育大学(IKIPムハマディア)について書きます。

IKIPムハマディアでは、日本とインドネシアの教員養成について、向こうの先生方と話し合いました。日本では、教師の志望者が多く、最近では需要が減ってきたため、なりたくても教師になれない人がたくさんできてきたこと、かつては「先生」はたいへん尊敬されたもので、近ごろはそうでもないようだが、それでもまだ日本では社会的地位もまあ高い方だと思われていることなどについて、IKIPムハマディアの先生方はたいへん驚いたようすでした。インドネシアでは、教師は社会的地位も低く、給料も安く、従って志望者が少なく、教師の数が足りなくて困っているのだそうです。また、日本の学生の学費やアルバイト料にも驚かれたようですが、生活費がインドネシアの5~10倍も高いことを話すと、納得されたようでした。他には、向うの大学の施設や設備の不十分さを強調しておられたのが印象に残っています。

IKIPムハマディアでは、附属学校の授業も参観



ムハマディア教員養成・教育大学附属学校の職員室
(大統領の写真、国章、および教育スローガンが掲げられている)

しました。小学校、中学校、高校、各2～3クラスずつ、および教員養成課程1クラスの授業を順に見て回りました。また、各クラスで子ども達から質問を受けましたが、そのうち、面白く思ったり、印象の深かったものを挙げますと、

「日本には、いくつくらいモスクがありますか」

「日本の中学生はどんな科目を勉強しているのですか」

「日本は、どうして、りっぱな工業国となり、自動車やテレビをたくさん作れるようになったのですか」

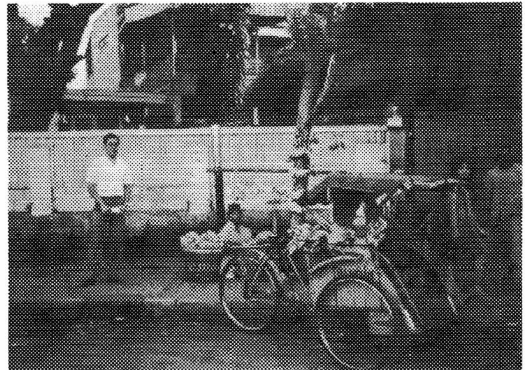
「アメリカは、何故日本に原子爆弾を落としたのですか」

「東京大学に留学したいのですが、何歳から行けるのでしょうか。また、日本には何年滞在できるのでしょうか」

このような雑多な質問に対して、できるだけわかりやすく答えようと、冷汗を流しながら奮闘したのでした。ただ、お互いあまり流ちょうでない英語でI K I Pの先生と会話し、それをまた向うの先生がインドネシア語で子どもに伝えるという手順を踏むため、子どもの発問の主旨をきちんと把握できたか、解答がうまく子どもに伝わったかどうかには、少し心もとない感

もありました。

短い滞在期間であったため、インドネシアという国の印象についても、また、インドネシアの教育制度や内容についてもまだ十分に把握しておらず、いくつかの点で誤解もあるかもしれないと思っています。しかし、インドネシアの生活、文化、教育に触れたことは、私に多くのことを考えさせ、まことに強烈な印象を残したのでした。



ジャカルタの街頭

▶筆者は、昭和59年8月25日から昭和59年9月3日まで教員の教育態度に関する比較文化的研究のため、インドネシアへ外国出張されましたので、特に寄稿を御依頼したものです。

職 員 消 息

《新任者》

工 学 部

事務補佐員 高田 智子
(会計係)

臨時用務員 松原 孝則
(管理係)

教 養 部

講 師 釜谷 武志
(中国語)

事務補佐員 三村 紀子
(工学部分館係)

経営短期大学部

教 授 南 龍久
(経営管理論)

《住所変更》

人文学部・理学部

文部事務官 羽広 孝司

教育学部

助 教 授 村 上 宣 寛

工 学 部

教 授 池 田 正 夫

助 手 堀 田 朋 基

《住所表示変更》

教育学部

附属中学校教諭 阿部美知夫

理 学 部

助 手 酒 井 英 男

理 学 部

教 授 横 山 泰

◎ 退庁，退室の際には，戸締りの徹底・電気，ガスの消し忘れ，タバコの吸殻の後始末に十分注意し，盗難の防止・火災の予防に心がけましょう!!

◎ 電気，ガス，水の省エネ・省資源に協力しましょう!!

主 要 行 事

本 部

9月3日 第3回会計係長会議
職業補導担当者会議

4日 第2回事務協議会

5～7日 昭和59年度文部省共済組合初任事務担当者会議（於 東京農林年金会館）

5日 全学就職説明会

7日 部課長会議
R連盟富山地区ソフトボール大会
（於 県営軟式球場）
第5回学寮補導委員会

10日 公開講座「健康・スポーツ教室」（ジョギ

ングコース）開講

14日 第3回大学院委員会
第3回入学者選抜方法研究委員会専門委員会

第4回入学試験管理委員会

17～18日 第19回東海・北陸地区国立大学事務局長会議（於 岐阜大学）

17日 第1回体育部会

18日 共通第1次学力試験に関する地区別情報処理連絡協議会（於 金沢大学）
昭和59年度大学・高等専門学校奨学生事務協議会
（於 福井大学・福井県職員会館）

	高等学校教育課程改訂に関する学習会	9月1日	附属養護学校第2学期始業式
20日	国大協第3常置委員会(於 国大協)		附属幼稚園第2学期始業式
	富山共済組合支部連絡協議会ソフトボール大会	3~4日	教員養成実地指導(事前指導)
	第3回学園ニュース編集委員会	4~5日	附属中学校学校祭
21日	第5回評議会	5日	教育学部教育実習運営協議会(中学校関係)
	物品の定期検査説明会	5~7日	教員養成学部学生合宿研修(於 有峰青少年の家)
22~23日	施設課レクリエーション(於 栗津温泉)	6日	教育実習(10月20日まで)
25日	富山消防署査察	7~8日	日本教育大学協会第2部会家庭科部門総会(於 札幌市)
25~29日	昭和59年度(第21回)東海・北陸地区国立学校等会計事務職員研修(於 銀嶺荘)	10日	人事教授会
25~27日	昭和59年度厚生補導研究協議会(於 日経連人材開発センター富士研修所)		学部将来計画委員会
27日	第1回レクリエーション委員会		予算委員会
	第3回補導協議会	12日	学部補導委員会
27~28日	第20回国立41大学庶務部長会議(於 鹿児島大学)		学部教務補導合同委員会
	第20回41国立大学経理部長会議(於 山口大学)		学部教務委員会
28日	構内交通対策委員会		教授会
29~30日	学生部・保健管理センターレクリエーション(於 下呂温泉)	17日	学部自然観察実習センター委員会
		18日	教育実践研究指導センター運営委員会
			授業分析室委員会
		19日	人事教授会
		19~21日	全国附属学校連盟北信越地区協議会副校長会・日本教育大学協会第三部会(於 新潟市)
		25日	富山消防署査察

人文学部

9月1日	前学期第14週授業開始
4日	大学院設置推進委員会
5日	人事教授会
	後学期授業時間割担当者会議
7日	予算委員会
12日	学部補導委員会
	教授会
	人事教授会
14日	前学期授業終了
19日	学部教務委員会
22~23日	真率会レクリエーション(於 雄琴温泉)
25日	富山消防署査察
26日	教授会

教育学部

経済学部

9月	
1~2日	経済学部・経営短期大学部合同レクリエーション(於 下呂温泉)
1日	授業開始
4日	学部教務委員会
8日	前学期授業終了
12日	学部教務委員会
	教授会
15日	経済学部(旧制高岡高商)創立60周年記念式典(於 高岡市民会館)
25日	富山消防署査察
26日	学部教務委員会
	教授会

理 学 部

- 9月3日 前学期第14週授業開始
 5日 人事教授会
 学部補導委員会
 7日 大学院入学者選抜調査書審査
 10～11日 大学院理学研究科入学者選抜試験
 12日 理学研究科委員会
 15日 前学期授業終了
 17日 大学院理学研究科合格者発表
 19日 教授会
 22～23日 真率会レクリエーション（於 雄琴温泉）
 25日 富山消防署査察

工 学 部

- 9月
 4～5日 大学院工学研究科入学者選抜試験
 12日 教授会
 工学研究科委員会
 14日 工場運営委員会
 大学院工学研究科合格者発表
 17日 寮生との懇談会
 事務連絡会
 19日 学部改革検討委員会
 20日 寮生との懇談会
 21日 富山消防署査察
 25日 同 上
 27日 学部入試検討委員会

教 養 部

- 9月5日 補導委員会
 人事教授会
 教授会
 8～9日 親和会レクリエーション（於 上高地）

- 17～29日 前学期末試験
 25日 富山消防署査察
 26日 教務委員会

附 属 図 書 館

- 9月1日 電算化ワーキンググループ打合せ
 10日 同 上
 14日 同 上
 17日 係長事務打合せ会
 21日 電算化ワーキンググループ打合せ
 25日 同 上
 富山消防署査察
 27日 ワーキンググループと富士通S Eとの打合せ
 28日 同 上

トリチウム科学センター

- 9月25日 富山消防署査察

保健管理センター

- 9月25日 富山消防署査察

経営短期大学部

- 9月
 1～2日 経済学部・経営短期大学部合同レクリエーション（於 下呂温泉）
 6日 第5回財務委員会
 13日 第4回将来構想委員会
 14日 前学期授業終了
 17～22日 前学期末試験
 20日 第6回教授会
 25日 富山消防署査察

編 集 富山大学庶務部庶務課
 富山市五福3190
 印刷所 あ け ぼ の 企 画
 富山市曙町8-4
 電 話 (33)3356(代)